

# ARAI NEWS

スネル規格テスト対象外の  
 ヘリ部分を薄くしたヘルメットの重心



アライヘルメットの重心  
 ヘリ部分まで厚くして強度を確保した

首の重心

どんなに強い帽体材料でも、ヘルメット全体に十分に厚みが行き渡ってなければ無意味です。と言うのは、厳しい安全基準として有名なスネル規格でも、実はテストの対象となるのはヘルメットの上部だけなので、テストの範囲外であるヘリ部分の厚みを薄くすることで、帽体を軽くすることも可能だからです。しかし、実際の事故ではヘルメットのヘリ部分に衝撃を受ける例が少なくありません。従って、自己防衛のためにも、ヘルメットを選ぶときには、プロの一流選手がそうしているように、ヘリ部分を両横からグッと押し潰すようにして強度を確かめてください。

それだけではありません。人間はヘルメットの重量の3倍もある約5キロの重たい頭を一日中頭に乗せています。それでも目方を感じないのはうまく重心で支えているからです。従ってヘルメットもち



ようど重心が頭と同じ位置にあれば目方を感じないはず。ただ構造上、ヘル

メットの重心はどうしても頭より上の方にきます。このヘルメットの重心位置の差が、首への負担の差となるわけです。例えば、軽量化を計るためにヘリ部分を薄くしたヘルメットの重心は頭の位置より50ミリ以上も上にきて、手に持った重量以上に疲れます。逆にヘリ部分まで厚くして強度が確保されているヘルメットは重心が下がって、手に持った以上に疲れが少ないヘルメットになります。アライはヘリ部分まで厚みを確保し丈夫にすることによって、その重心は一般のヘルメットより10ミリ以上も低く、安全だけでなく、首への負担も軽くしています。ヘルメットの重量を比較するときは、必ずかぶって、さらに頭を振ってみて首への負担の大小を確かめて下さい。ヘリまで丈夫なヘルメットは安全だけでなく疲れが少ないヘルメットでもあるのです。

## 丈夫なヘルメットと重量

(株)アライヘルメット  
 〒330 埼玉県大宮市東町2-12  
 TEL(048)641-3825~7



●アフターサービスの窓口は品質管理課です。  
 製品の事なら、お気軽にご相談ください。  
 直通 TEL(048)645-3661